

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 インフォメーション・ディベロプメント

コード番号 4709 URL <http://www.idnet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 船越 真樹

問合せ先責任者 (役職名) 社長室長

(氏名) 山内 佳代

TEL 03-3264-3571

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	8,634	△2.9	493	△0.8	483	△3.8	226	△16.6
21年3月期第2四半期	8,888	—	497	—	502	—	271	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	30.48	30.45
21年3月期第2四半期	36.54	36.44

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	9,234	5,958	62.7	779.12
21年3月期	10,055	5,895	56.7	768.16

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 5,787百万円 21年3月期 5,705百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	19.00	19.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	19.00	19.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	△7.9	680	△35.7	670	△39.6	300	△46.8	40.39

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	8,029,535株	21年3月期	8,029,535株
---------------------	-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	601,160株	21年3月期	601,666株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	7,427,875株	21年3月期第2四半期	7,426,090株
----------------------	-------------	------------	-------------	------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、業況の変化等により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。また、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」もあわせてご参照ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)における情報サービス産業は、昨年からの実体経済の悪化による企業のIT関連投資意欲減退や経費節減傾向が顕著となり、非常に厳しい状況にありました。

経済産業省が行っている「特定サービス産業動態統計調査」(平成21年10月9日発表)によりますと、情報サービス産業の売上高は、平成20年9月から前年同月比減少に転じ、平成21年1月と5月を除いて、前年同月比がマイナスとなりました。

このような事業環境のもと、当社グループは、経営資源を共有し、既存顧客を中心とした受注活動を積極的に展開するとともに、引き続き技術者育成、生産性の向上および内製化の推進などに注力してまいりました。

その結果、主力のシステム運営管理業務は堅調に推移したものの、ソフトウェア開発業務における受注減やデータ入力業務の大口案件の終了により、当第2四半期連結累計期間における売上高は、86億34百万円(前年同期比2.9%減)となりました。

収益面につきましては、内製化の推進による外注費の削減効果があったものの、継続案件の受注単価の下落、開発案件の減少および一部延期に伴う技術者稼働率の低下に加え、平成20年8月に連結子会社化した株式会社シィ・エイ・ティののれん償却費が計上されたことなどにより、営業利益4億93百万円(同0.8%減)、経常利益4億83百万円(同3.8%減)、四半期純利益2億26百万円(同16.6%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの部門別売上高は、次のとおりであります。

① システム運営管理部門

引き続き既存顧客との連携を強化した結果、受注が堅調に推移し、売上高は49億9百万円(前年同期比4.5%増)となりました

② ソフトウェア開発部門

エネルギー、運輸分野の受注は引き続き堅調に推移したものの、金融・保険関連の受注の減少ならびに一部連結子会社における受注不振により、売上高は28億97百万円(前年同期比11.0%減)となりました。

③ データ入力部門

株式会社シィ・エイ・ティを新規連結子会社化した増収効果があったものの、株券電子化の施行に伴った大型証券代行案件の終了により、売上高は5億38百万円(前年同期比23.2%減)と大幅に減少しました。

④ その他(セキュリティ部門、コンサルティング業務)

セキュリティ業務の受注好調およびコンサルティング業務の堅調な推移により、売上高は2億88百万円(前年同期比23.7%増)となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### ①財政状態の変動状況

#### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、現金及び預金の減少4億46百万円、売上債権の減少1億57百万円および仕掛品の減少1億39百万円などにより、前連結会計年度末の100億55百万円から8億21百万円減少し92億34百万円となりました。

#### (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債の部は、仕入債務の減少1億69百万円、有利子負債の減少2億81百万円、未払法人税等の減少1億25百万円、賞与引当金の減少1億74百万円および退職給付引当金の減少33百万円などにより、前連結会計年度末の41億59百万円から8億83百万円減少し32億76百万円となりました。

#### (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末の58億95百万円から62百万円増加し59億58百万円となりました。主な要因は、四半期純利益2億26百万円および配当金の支払1億41百万円等によるものであります。

自己資本比率は前連結会計年度末の56.7%から6.0%上昇し62.7%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年同四半期連結会計期間末に比べ93百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には14億28百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1億58百万円(前年同期比38.6%減)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益4億48百万円、減価償却費65百万円、のれん償却額75百万円、売上債権の減少1億58百万円、賞与引当金を含むその他の流動負債の減少額2億61百万円および法人税等の支払額2億92百万円などによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億76百万円(前年同期比56.9%減)となりました。

これは主に、投資有価証券の取得による支出98百万円および無形固定資産の取得による支出78百万円などによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4億27百万円(前年同期比914.8%増)となりました。

これは主に、短期借入金の純減少額2億円、長期借入金の返済による支出50百万円、社債の償還による支出31百万円および配当金の支払額1億40百万円などによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間における当業界につきましては、昨年以来の経済環境の悪化から、企業のIT関連への投資抑制や経費節減傾向は依然として顕著であり、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは第3四半期以降、受注活動の推進や、固定費等の削減、グループ資源の集中による業務効率化等の改善をはかってまいります。しかしながら、データ入力業務の大口案件の終了や顧客のIT投資抑制に伴う受注の減少、継続案件の受注単価の下落、ソフトウェア開発案件の中止や延期に伴う技術者稼働率の低下など今後も引き続き厳しい事業環境が続くと予想され、当初の業績予想までの改善には至らない見込みとなったため、下記の通り修正いたします。

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想（A）	百万円 18,650	百万円 1,130	百万円 1,110	百万円 570	円 銭 76.74
今回修正（B）	17,000	680	670	300	40.39
増減額（B－A）	△1,650	△450	△440	△270	—
増減率	△8.8%	△39.8%	△39.6%	△47.4%	—
（ご参考）前期実績 （平成21年3月期）	18,458	1,057	1,109	563	75.87

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

請負受注制作のソフトウェアに係わる売上高及び売上原価の計上基準の変更

請負受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した受注制作のソフトウェア契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる受注制作のソフトウェアについては進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の受注制作のソフトウェアについては完成基準を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は232,780千円増加し、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ76,289千円増加しております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,448,767	1,894,986
受取手形及び売掛金	2,465,593	2,623,465
仕掛品	71,581	210,742
その他	346,319	458,643
流動資産合計	4,332,261	5,187,838
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,686,795	1,686,795
その他(純額)	731,820	756,938
有形固定資産合計	2,418,616	2,443,734
無形固定資産		
のれん	821,229	823,355
ソフトウェア	79,749	89,828
その他	9,347	9,361
無形固定資産合計	910,325	922,545
投資その他の資産	1,573,261	1,501,638
固定資産合計	4,902,204	4,867,917
資産合計	9,234,465	10,055,756
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	243,740	413,289
短期借入金	430,000	630,000
1年内償還予定の社債	—	31,450
1年内返済予定の長期借入金	100,200	100,200
リース債務	732	721
未払法人税等	163,751	288,889
賞与引当金	479,069	654,021
役員賞与引当金	8,200	21,710
受注損失引当金	117	1,476
その他	599,621	686,673
流動負債合計	2,025,432	2,828,431
固定負債		
長期借入金	91,250	141,350
リース債務	2,131	2,500
退職給付引当金	691,539	725,488
役員退職慰労引当金	465,800	462,178
固定負債合計	1,250,721	1,331,517
負債合計	3,276,154	4,159,949

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	592,344	592,344
資本剰余金	545,595	545,719
利益剰余金	5,105,977	5,020,712
自己株式	△429,391	△429,792
株主資本合計	5,814,526	5,728,984
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△23,399	△16,511
為替換算調整勘定	△3,512	△6,686
評価・換算差額等合計	△26,912	△23,198
少数株主持分	170,696	190,020
純資産合計	5,958,311	5,895,807
負債純資産合計	9,234,465	10,055,756

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	8,888,050	8,634,147
売上原価	7,254,463	6,918,936
売上総利益	1,633,587	1,715,210
販売費及び一般管理費	1,135,976	1,221,385
営業利益	497,610	493,825
営業外収益		
受取利息	898	1,150
受取配当金	11,832	10,433
受取保険金及び配当金	6,404	—
その他	10,046	5,479
営業外収益合計	29,182	17,063
営業外費用		
支払利息	7,445	5,855
コミットメントライン手数料	16,607	17,729
その他	14	3,701
営業外費用合計	24,067	27,287
経常利益	502,725	483,602
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,128
貸倒引当金戻入額	8,900	—
特別利益合計	8,900	2,128
特別損失		
固定資産売却損	266	466
固定資産除却損	737	3,203
投資有価証券評価損	—	29,940
解約清算損	—	3,180
特別損失合計	1,003	36,789
税金等調整前四半期純利益	510,622	448,940
法人税、住民税及び事業税	121,507	150,981
法人税等調整額	112,970	85,896
法人税等合計	234,477	236,878
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4,812	△14,331
四半期純利益	271,331	226,394

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	510,622	448,940
減価償却費	69,254	65,974
固定資産除却損	737	3,203
固定資産売却損益(△は益)	266	466
投資有価証券評価損益(△は益)	—	29,940
のれん償却額	31,938	75,533
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,020	△13,510
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,900	—
受注損失引当金の増減額(△は減少)	3,978	△1,358
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△51,415	△33,948
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	12,896	3,621
受取利息及び受取配当金	△12,731	△11,584
支払利息	7,445	5,855
為替差損益(△は益)	△373	1,600
売上債権の増減額(△は増加)	415,541	158,755
たな卸資産の増減額(△は増加)	△113,392	139,188
仕入債務の増減額(△は減少)	△76,673	△169,569
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△33,537	△10,868
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△215,148	△261,218
その他	16,489	13,743
小計	543,975	444,764
利息及び配当金の受取額	12,477	11,463
利息の支払額	△7,157	△5,395
法人税等の支払額	△291,380	△292,518
営業活動によるキャッシュ・フロー	257,914	158,314
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△46,435	△30,545
有形固定資産の売却による収入	114	217
投資有価証券の取得による支出	△300	△98,860
投資有価証券の売却による収入	—	7,600
無形固定資産の取得による支出	△26,160	△78,363
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△339,978	—
貸付けによる支出	△2,770	△2,846
貸付金の回収による収入	534	680
その他	4,292	25,156
投資活動によるキャッシュ・フロー	△410,703	△176,960

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	△200,000
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△8,350	△50,100
社債の償還による支出	△89,710	△31,450
株式の発行による収入	1,607	—
リース債務の返済による支出	—	△357
自己株式の取得による支出	△651	△175
自己株式の売却による収入	39	452
配当金の支払額	△140,373	△140,739
少数株主への配当金の支払額	△4,698	△5,211
財務活動によるキャッシュ・フロー	△42,136	△427,581
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50	8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△194,975	△446,219
現金及び現金同等物の期首残高	1,530,449	1,874,986
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,335,474	1,428,767

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項ありません。

(5) セグメント情報

**【事業の種類別セグメント情報】**

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)において、情報サービス事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えており、その他の事業には重要性がないため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

**【所在地別セグメント情報】**

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)において、本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

**【海外売上高】**

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)において、海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

該当事項はありません。